

スキルアップ 第5号

青森県立八戸高等支援学校 進路指導部 令和7年8月28日発行

令和6年度 卒業生 フォローアップの様子

夏休み期間中、令和6年度卒業生（今年3月に卒業）のフォローアップを実施いたしました。すっかり仕事にも慣れ、毎日元気に頑張っている姿が印象的でした。写真とともに、進路先の方やご本人のコメントをご紹介します！

生活介護事業所



新しい生活にも慣れて、元気に過ごしています。自立課題に取り組んだり、本を見たり、バランスボールで運動したりと、色々な活動に取り組み、笑顔で過ごしています。

一般事業所



利用者さんのお部屋や館内清掃に取り組んでいます。仕事にも少しずつ慣れ、日々出てきた課題と向き合いながら綺麗に仕上げることを心掛けています。今後は、手早さも身に付けて行きたいです。

生活介護事業所



毎日カリキュラム通りに個別課題や運動に楽しく取り組んでいます。散歩へ行くのも楽しみの一つです。これからも落ち付いて生活していきたいです。

B型事業所



学校にいるときは朝が苦手でしたが、働き始めてからは遅刻もなく、毎日、館内清掃を頑張っています。廊下もトイレもピカピカに磨いています！

一般事業所



グランドキャビンやランドクルーザーの洗車等、大変な仕事もありますが、やりがいを感じながら日々頑張っています。運転免許も取得予定です。

A型事業所



各学校から集めたパソコンやプリンターを解体しています。先輩とコミュニケーションをしっかりと取り、協力しながら作業に取り組んでいます。

B型事業所



缶の仕分け、缶潰し、ポスティング、農作業など、主に外作業に取り組んでいます。4月よりは施設にも慣れてきてコミュニケーションがとれるようになってきました。

B型事業所



布のカット、弁当箱洗い、トーチの作成、ジャガイモ堀りなど、様々な仕事に取り組んでいます。自分から挨拶や報告などできていて、本当によくがんばっています。

一般就労に関わる面談

一般事業所・A型事業所への就労を目指す生徒を対象として、夏季休業中にハローワーク（八戸、三沢、十和田）で面談を行いました。津波警報の避難指示により延期になった面談は、8月末に実施となりました。

一般事業所を希望する生徒は四者面談、A型事業所を希望する生徒は三者面談として、1名につき40～50分程度の面談を行いました。ここでいう四者とは①本人・保護者、②学担・進路担当、③ハローワーク専門援助部門、④障害者就業・生活支援センター（みなと・みさわ）のことを指しています。A型は支援センターを除いた三者になります。

提出書類や面談の内容

- ・求職申込書（事前に生徒が学校で記入します）、愛護手帳のコピー、現場実習個人調書
- ・就労に向けての様々な制度の説明
- ・各地区の支援センターの役割説明、仮登録
- ・実習内容や進路希望に関する本人への質問

この面談は一般就労に向けて必ず必要な手続きです。夏季休業中とはいえ、お忙しい合間を縫って参加してくださった保護者の皆様、大変お疲れ様でした。

無事に登録が完了すると、下図のような『ハローワーク受付表』が発行されます。A4用紙サイズです。ハローワークで手続きをする際に毎回必要となりますので、紛失しないように卒業後も大切に保管してください。

ハローワーク受付表	
受理年月日：令和〇年7月1日	
氏 名：ショクアン ハナコ	
職 安 花子 様	
希望就業形態：フルタイム	求職番号：00000-1111111
担 当 窓 口：00	
職 種：000-00	
見 本	

職員職場体験・見学会

夏季休業中、2つの福祉事業所の御厚意で教職員の職場体験と見学会をさせていただきました。この職場体験・見学会は開校年度から積極的に実施しているものです。雇用環境等を知り職種についての理解を深め、今後の指導へとつなげることを目的としています。



見学・体験した事業所は、多機能型で就労継続支援A型、B型事業所を運営しています。



体験した教職員から、「生徒の働く環境をイメージしやすくなった。」「社会人として培いたい力をイメージできた。」「もっとたくさんの職員が見学・体験した方がよい。」等、様々な感想や意見がありました。見学先では、卒業後B型で利用を始め、利用者の成長を支援しながら、A型にステップアップしていく視点で取り組んでいるお話を聞くことができました。個々に応じて対応していることを目の当たりにでき、生徒の実習先として学び多い環境でした。また、「長時間屋外で作業を行う場合、体力向上や自分の体調把握が必要であると分かった。」と感想がありました。

昨今、報酬改定や最低賃金引き上げによりA型事業所の閉所等が増えてきています。多機能型事業所の貴重さを感じ、卒業生の成長を確認することもできたことから、生徒の向上心を育成しながら、日々の指導を積み重ねたいと感じました。

最後に、働く上での体調把握と自己管理能力、体調不良時に自分から相談できる力を培うことが在学中から必要であるということを痛感させられました。